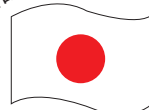


山梨県神社庁報

かみかね

祝祭日には国旗を掲げましょう



11月3日 文化の日
11月23日 勤労感謝の日
12月23日 天皇誕生日
1月1日 元日
1月9日 成人の日

第175号（平成28年10月20日）



神社を知ろう 開会式 鏡開き

山梨県神社庁設立七十周年記念
平成二十八年度神社関係者大会

（午後一時三十分）

第一部 次 第

一、物故神職総代慰霊祭
（午後一時〇〇分）

一、諸員著席

一、斎主以下祭員著席

一、修 祓

一、斎主降霊の儀を奉仕す
（一同起立低頭）

一、神饌を供す
（此の間奏楽）

一、斎主祭詞を奏す
（一同起立低頭）

一、玉串奉奠
神饌を撤す
（此の間奏楽）

一、斎主昇霊の儀を奉仕す
（一同起立低頭）

一、斎主以下祭員退下

第二部 式 典

一、開式の辞

一、神宮遙拝

一、国歌斉唱

一、敬神生活の綱領唱和

一、庁長式辞

一、総代会長挨拶

一、神社庁並総代会庁務報告

一、神社功績者表彰

祝 辞

一、神社本庁統理

一、神宮大宮司 他

一、被表彰者謝辞

一、宣言

一、聖寿萬歳

一、閉式の辞



式

辞

庁長 根 津 泰 昇

霜降の時節を迎えた今日の佳日に神職、総代を始め県下の氏子、崇敬者各位にご参列賜り、「平成二十八年山梨県神社関係者大会並びに山梨県神社庁設立七十周年記念式典」を開催致しました。神宮大宮司殿、神道政治連盟会長殿を始め多数の御来賓のご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。又ご参列賜りました関係者各位には、斯界の為に常日頃ご尽力頂いております事に敬意を表します。

本年二月の臨時評議員会に於いて、庁長再任の決議を頂きました。今後三年間一意専心努力して参りますので、より一層のお力添え賜りますようお願い申し上げます。

畏くも天皇、皇后両陛下におかせられましては、天機愈々麗しく日々公務にあたり精励遊ばされておりますこと、慶賀に堪えないしだいあります。本年はフィリピン共和国へ先の大戦で散華された戦没者の英霊に哀悼の意を表され、又、熊本県を

中心とする地震の御見舞にもいち早く行幸啓遊ばされました。こうした大御心を拝すること、寔に恐懼に堪えません。

本宗と仰ぎます神宮にありましては、伊勢・志摩サミットが開催され各国の首脳が参拝され、日本の伝統文化に親しまれました。伊勢の地が目されたこの契機に神社神道に対する一層の理解が深まることを期待いたします。又、今夏は暑さ厳しき折にも関わらず、多くの参宮者が訪れたと聞き及んでおります。神宮に関心が寄せられている証です。日本人の心の興隆に期待いたします。

本年は山梨県神社庁設立七十周年を迎えた佳節の御年であります。戦後混沌としている時代背景のなか、宗教法人として歩み始めました。正に先人達の苦労と努力が次の世に、次の世に引き継がれた証しだと確信しております。その思いを思う時に、今、神社関係者が為さねばならないことは何かを問うことが肝心と感じ、記念事業として

三つの事業を計画いたしました。

一つは、『神社を知ろう』の企画です。去る八月六日、七日の二日間実施いたしましたところ三千人近い来場者を迎え、大いに盛り上がる事が出来ました。教化委員会主催の緑陰子供会にも県下から五十人を超える参加者で意義有る緑陰子供会でありました。藤村記念館では神宮の紹介パネル、庁報「かいがね」の表紙パネルを展示、大勢の来場者で賑わいました。神職、巫女体験は非常に人気を博し、体験者希望が後をたちませんでした。この企画を通し神社文化に親しんで頂けたと感じております。関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第二は、本日開催されております山梨県神社関係者大会並びに山梨県神社庁設立七十周年記念大会です。五年毎の記念大会で有りますので意義有る大会になることを念じております。

第三は、不活動神社対策委員会の強化です。県内には二百社を超える不活動神社が存続しております。法人売買などの犯罪に利用される事も危惧されます。また御祭神に対し信仰と祭祀の厳修を損なうことにもなりかねませんので、問題解決には当該神社だけの問題ではなく、

斯界全体で取り組むべき問題であります。神社庁設立七十周年記念事業で、将来を見据え継続事業として強化して参りますのでご理解、ご協力をお願い致します。

設立七十周年記念事業の全てをDVDに作成し、完成後各支部に贈呈いたします。そして、そのDVDを次世代に残したいと思っております。

神宮大麻につきましては、神宮より『努力を認められた神社庁』として表彰の栄に浴しました。これも偏に関係者各位のご努力の賜ものと感謝申し上げます。本年もこの表彰を励みに、都市部対策に全力を傾けて参りますので関係者各位には厚いご努力をお願い申し上げます。

設立七十周年を機に私達神社関係者が、いま何が出来るか、神社の杜から何が発信できるか、次の時代に何を継承できるか考えていきたいと存じます。どうか忌憚ないご意見を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりましたが本日表彰の栄に浴されました方々は常日頃神明奉仕に携われていらしやることが認められたことでございます。衷心よりお祝い申し上げますと共に今後のご活躍、ご健勝をご祈念申しあげ式辞といたします。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培ひ、大立を開く基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



創立七十周年に寄せて

山梨県神社総代会

会長 中 込 豊 秋

ます。

七月に実施された参議院議員選挙に於いて与党は両院で三分の二の議席を超えました。野党も一部を除き、憲法改正について議論のテーブルにつく姿勢が見られ、更に世論を盛上げて参ることの大切さを感じます。

今日の日本の平和はアメリカに頼り守られており、この状況がいつまで続くか、自国防衛を如何とするか。あの不戦国家を宣言しておるスイスでさえ国境は強固な要塞で守り、国家予算の三分の一をかけ攻めはしないが、攻められれば戦う軍隊を要し、主要国は世界の状況に対し、国民のための憲法改正を推めており、国土を守り国民が安心して生活の出来得る改正を確りと考えて参ろうではありませんか。

三年目になります国旗掲揚推進運動も、徐々ではありますが、掲揚される数は増えつゝ、熱心な方がおられる地域は特に成果が見受けられます。今年は総代会として「祝祭日には国旗を揚げよう」との「ノボリ」を作り各支部に頒布しました。活用願ひ度いと思います。引続いて

次年度も頒布して参ります。

去る五月神社本庁の役員会に於いて平成三十二年東京オリンピック、パラリンピックに向けて、国旗掲揚推進しようを決議され、神社庁にそのための委員会も設立され、全国的に掲揚推進運動が実施されます。今日お集りの皆さん、ぜひこの運動にご参加下さい。先ずは我家からです。特に壇上の先生方、お手本をお示し戴きたく、お願い申し上げます。

設立七十周年記念事業（不活動神社対策）大変で大切な事業であります。過疎化、少子高齢化に依る影響を受け、例祭、地域の祭も催行されない神社が、県によりますと二百社あり、法人であるが故に売買により犯罪に利用される恐れがあります。予備軍が数多く予想され、宮司も総代も、いない神社では法人解消に必要な決議証も添えられず、なほ諸費用の捻出も難しい。神社庁としてもこの難題に対し本格的に取り組むことになりました。神社本庁より指定県としてのご支援をも得て推めて参ります。総代会としても、百周年に向けて、共助、互助の精神のもと、諸費用の協賛をして参り度い、総代各位におかれてはご理解の上、ぜひご協力を賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

庁 務 日 誌 抄

祭 儀 関 係

平成二七年	神殿月次祭斎行	三・一	元祭参列	八・二五	山梨縣護國神社戦没者追悼式参列	一・一五	化ホール	合同初会（ベルクラシック）
一〇・一五	山梨縣護國神社例祭幣使参向	三・五	神殿月次祭斎行	八・二六	北口本宮富士浅間神社鎮火祭（吉田の火祭り）参列	一・九	世界連邦平和促進全国宗教者信仰者会（富士吉田）	一・二六
一〇・一六	甲府支部支部神宮大祭幣使参向	三・六	神政連東日本大震災慰霊祭参列	九・一七	神宮大祭幣使参向	一・一〇	明野中学校神道講演（明野中学校）	一・二八
一〇・二〇	大祭幣使参向	三・二一	神政連靖國神社参拝旅行	九・一九	小室浅間神社例祭幣使参向	一・一二	憲法改正武道館大会（武道館）	二・四
一〇・二二	東山梨支部神宮大祭幣使参向	四・一	神殿月次祭斎行	九・二二	山梨縣護國神社例祭幣使参向	一・一六	新穀感謝祭（五八二名）	二・四
一〇・二二	南都留支部神宮大祭幣使参向	四・三	檀原神宮神武天皇二六〇〇年大祭参列	九・二三	神社庁神宮大祭並曆頒布始祭斎行	一・二四	表彰委員会、役員会、議案審議委員会、神政連地方議員懇談会	二・五
一〇・二八	峡中支部神宮大祭幣使参向	四・五	山梨縣護國神社例祭幣使参向	九・二四	曆頒布始祭斎行	一・二六	教化委員会、神政連本部常任委員会	二・七
一一・一	神殿月次祭斎行	四・一二	武田神社例祭幣使参向	一一・一	神政連東本部常任委員会	一・二〇	不活動法人対策会議（都賀町民会館）	二・一〇
一一・一	北都留支部神宮大祭幣使参向	四・二三	役員就任奉告祭斎行	一一・五	神祭式講師研究会（神社本庁）	一・八	峡北支部・峡北神社総代会年末合同会議（魚光会館）	二・一六
一一・一	麻暦頒布始祭斎行	四・二三	靖國神社春季例大祭参列	一一・五	神政連本部常任委員会	一・八	議案審議委員会、役員会、役員納会	二・二二
一一・一	峡北支部神宮大祭幣使参向	四・二五	河口浅間神社例祭幣使参向	一一・五	神政連本部常任委員会	一・八	神政連本部常任委員会	二・二五
一一・一	東八代支部神宮大祭幣使参向	四・二五	稲積神社例祭参列	一一・九	細川護国を偲ぶ会（東京大神宮）	一・七	甲府支部神職初会（稲積神社）	二・二六
一一・一	神宮新穀感謝参拝旅行	五・一	神殿月次祭斎行	一一・九	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神殿新嘗祭斎行	五・一	北口本宮富士浅間神社例祭幣使参向	一一・二〇	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	浅間神社御鎮座一五〇年大祭幣使参向	五・一	神殿月次祭斎行	一一・二一	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神殿歳旦祭斎行	六・一	神殿月次祭斎行	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神社庁車庫屋根工事地鎮祭	八・一	神殿月次祭斎行	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神殿例祭斎行	八・一	神政連本部常任委員会	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神殿月次祭斎行	八・一	神政連本部常任委員会	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神宮初まり	八・一	神政連本部常任委員会	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	神殿祈年祭斎行	八・一	神政連本部常任委員会	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六
一一・一	山梨縣護國神社紀	八・一	神政連本部常任委員会	一一・二二	神政連本部常任委員会	一・七	神職初会（花水庭）	二・二六

三・五	神宮大麻曆頒布春季推進會議（神宮會館）	四・一九	部研修會（東京都神社本庁評議員一都七県の会（明治記念館）	五・三〇	周年記念大会（明治神宮會館）	七・四	栃木県神社庁設立七十周年記念式典	會	（牧丘綜合會會館）、神政連山梨県本部地方議員懇談會
三・六	東日本大震災物故者慰靈祭（東日本大震災慰靈碑前広場）	四・一九 （二〇）	神社庁研修所主任講師研究会（神社本庁）	七・八	神政連常任委員會、庁報委員會、神社新報社設立七十周年記念式典（明治記念館）	八・二九	神政連山梨県本部地方議員懇談會（ベルクラシック）		
三・八	教化委員會研修旅行	四・二〇	神政連山梨県本部臨時代議員會	七・二三	國旗掲揚推進委員會	九・三	東八代支部夏季研修會（淺間神社）		
三・一〇	一都七県神政連本部長・幹事長・事務局長會議（東京）	四・二一	番町政策研修所二〇一六飛躍の集い（パレスホテル東京）	六・三 六・七	選挙対策委員會、自由民主党（絆の会）（アビオ甲府）	九・七	日本會議役員會、美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会監査		
三・一一	浦安の舞研修會、庁報委員會	四・二二	役員會、全国選挙対策委員會（神社本庁）	六・一〇 六・一三	神道政治連盟國會議員懇談會合同懇談會（ニューオータニ）	七・二五	直階宮司代務者説明會	九・八	山梨県神道雅楽會一日研修會、庁報委員會
三・一四	教化委員會、役員會	四・二八	神政連東京都・神奈川県合同の靖國神社参拝研修會	七・二〇	甲府支部總會（ベルクラシック）	九・八	山梨県本部役員會		
三・一五	過疎化地域神社対策研究会（京都府）	四・二八	神政連東京都・神奈川県合同の靖國神社参拝研修會	七・二五	神道政治連盟國會議員懇談會合同懇談會（ニューオータニ）	七・二五	直階宮司代務者説明會	九・八	山梨県本部役員會
三・一六	甲府支部祭式研修會	五・八	神政連東京都・神奈川県合同の靖國神社参拝研修會	七・二五	神道政治連盟國會議員懇談會合同懇談會（ニューオータニ）	七・二五	直階宮司代務者説明會	九・八	山梨県本部役員會
三・二二	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・一二	千葉県神社庁設立七十周年記念大会	七・二六	神道政治連盟中央委員會（神社本庁）、本部長・事務局長連絡會（神社本庁）	七・二六	神社本庁役員會	九・一二	日本會議總會、美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会總會、美しい日
三・二三	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・一七	清和親政研究所との懇親の集い（テランドプリンスホテル新高輪）	六・一五	修會、事務担当者研修會（神社本庁）	八・二	山梨県神社總代会監査	九・一七	神宮大麻曆頒布秋季推進會議（神宮會館）、伊勢神宮崇敬會、神宮會館、皇室普及委員會（神社本庁）、山梨支部、神政連山梨県本部合同祭式研修會、一都七県事務担当者會（富士レックホテル）
三・二八	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・一八	教化委員會、役員會	六・一八	高野つよし総決起集會（アビオ甲府）	八・六	山梨県神社庁設立七十周年記念事業「神社を知ろう」（甲府駅北口広場）		
三・二九	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・一九	表彰委員會、役員會	六・二〇	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會	八・七	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會		
三・三〇	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・二〇	國旗掲揚推進委員會	六・二二	選挙対策委員會、自由民主党（絆の会）（アビオ甲府）	八・八	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會		
三・三一	山梨県神道青年會創立六十五周年記念式典（湯村常磐ホテル）、庁長懇話會（明治記念館）	五・二一	東八代支部總會（淺間神社）	六・二四	選挙対策委員會、自由民主党（絆の会）（アビオ甲府）	八・九	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會		
四・四	美しい日本の憲法をつくる国民の会（衆議院議員会館）	五・二三	山梨県同友会地本協力會通常總會、甲府富士屋ホテル）	六・二六	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會	八・一八	神政連山梨県本部臨時代議員會、國旗掲揚推進委員會、選挙委員會、身分選考委員會、役員會		
四・七	庁報委員會	五・二五	他諸會議	六・二七	庁報委員會	八・一九	東山梨支部定期總會		
四・一八	全国神社總代会幹	五・二五	神社本庁設立七十	六・二九	教化委員會広報部	八・一九	東山梨支部定期總會		

山梨県神社庁経常費歳入歳出決算				自 平成27年 7 月 1 日	至 平成28年 6 月30日
山梨県神社庁経常費歳入歳出予算				自 平成28年 7 月 1 日	至 平成29年 6 月30日
歳 入 の 部					
款項 科 目	27 年度決算額	本年度予算額			
神社本庁幣帛料	385,800	380,000	通 信 運 搬 費	662,687	800,000
負担金	24,561,880	22,745,800	賭 費	17,920	50,000
本庁協賛金	620,000	620,000	旅 費	1,575,290	1,800,000
神社負担金	11,361,800	11,361,800	交 際 費	833,870	1,100,000
神職負担金	8,283,000	8,434,000	慶 弔 費	165,770	250,000
特別神社寄贈金	1,930,000	1,930,000	雑 費	39,762	100,000
神宮奉賛活動推進費	400,000	400,000	車 両 維 持 管 理 費	878,604	1,100,000
本庁70周年負担金	1,967,080	0	事 業 費	9,757,245	9,955,000
交 付 金	49,284,720	49,100,000	教 化 関 係 費	648,273	1,000,000
神宮神徳宣揚費	48,300,000	48,200,000	教 化 委 員 会 費	1,710,219	3,000,000
神社本庁交付金	984,720	900,000	神社振興奨励費	0	
財 産 収 入	11,638	17,000	地 方 研 修 所 費	746,791	800,000
神殿奉納金	0	10,000	講 習 会 助 成 費	22,860	50,000
財 産 利 子	5,819	3,000	庁 報 発 行 費	1,084,320	1,200,000
預 金 利 子	5,819	4,000	郷 土 暦 調 整 費	1,057,536	1,100,000
諸 収 入	4,765,983	4,490,921	神宮奉賛活動推進費	400,000	400,000
郷土暦頒布費	2,106,000	2,000,000	指定団体補助金	1,220,000	1,220,000
手数料並授与料	792,000	800,000	神社本庁協賛金	465,000	465,000
雑 収 入	807,983	590,921	表 彰 費	35,568	300,000
特別納付金	1,060,000	1,100,000	神 社 調 査 費	117,105	300,000
当初運営金	6,000,000	6,000,000	諸 祭 寄 贈 金	90,000	120,000
繰 越 金	13,531,562	9,466,279	一都七県当番準備金	0	
歳 入 合 計	98,541,583	92,200,000	一都七県当番県助成金	2,159,573	0
歳 出 の 部					
款項 科 目	27 年度決算額	本年度予算額			
幣 帛 料	429,000	450,000	神社本庁負担金	4,999,050	4,600,000
神宮神徳宣揚費	31,127,456	31,330,000	大 麻 暦 頒 布 費	959,558	1,119,000
本庁特別納付金	9,667,456	10,000,000	頒 布 始 祭 費	80,000	80,000
支部交付金	21,460,000	21,330,000	郷土暦頒布交付金	631,800	700,000
会 議 費	3,631,814	4,900,000	荷 造 発 送 費	26,758	50,000
役員会費	1,730,057	1,900,000	雑 費	221,000	289,000
委員会費	99,672	200,000	派 遣 費	1,079,127	1,310,000
関係者大会費	1,423,118	2,100,000	評 議 員 派 遣 費	266,180	300,000
参 与 会 費	378,967	700,000	一都七県連合会派遣費	660,277	800,000
給料及諸給与	16,477,591	17,065,260	神宮奉仕員派遣費	10,000	10,000
給 給 手 当	8,697,600	8,834,400	事務担当者派遣費	142,670	200,000
諸 給 手 当	2,217,960	2,217,960	会 館 運 営 費	740,446	1,120,000
賞 与	3,261,600	3,312,900	神 殿 費	148,966	200,000
備 人 料	0	100,000	借 地 費	200,000	200,000
社会保険・厚生年金	2,217,411	2,500,000	営 繕 費	84,000	300,000
福 利 厚 生 費	83,020	100,000	管 理 費	207,480	300,000
庁 費	6,295,928	8,450,000	諸 費	100,000	120,000
備 品 費	722,352	1,100,000	資 金 財 産 造 成 費	6,010,000	2,520,000
文 房 具 費	12,149	50,000	基 本 財 産 造 成 費	10,000	10,000
図 書 印 刷 費	63,166	500,000	予 備 資 金 積 立 金	1,000,000	10,000
消 耗 品 費	372,224	500,000	職 員 退 職 金 積 立 金	3,000,000	1,000,000
光 熱 水 費	952,134	1,100,000	会 館 維 持 資 金 積 立 金	1,000,000	500,000
			神宮式年遷宮積立金	1,000,000	1,000,000
			分 担 金	568,089	500,000
			運 営 資 金 積 立 金	1,000,000	800,000
			次 年 度 当 初 運 営 金	6,000,000	6,000,000
			予 備 費	0	2,080,740
			歳 出 合 計	89,075,304	92,200,000

山梨県神社庁総代会経常費歳入歳出決算				自 平成27年 7 月 1 日	至 平成28年 6 月30日	
山梨県神社庁総代会経常費歳入歳出予算				自 平成28年 7 月 1 日	至 平成29年 6 月30日	
歳 入 の 部				消 耗 品 費	2,778	10,000
款 項	科 目	27 年度決算額	本年度予算額	旅 費	215,020	300,000
諸 収 入		3,063,215	3,027,010	手 当	120,000	120,000
	負 担 金	1,554,100	1,554,100	慶 弔 費	30,000	80,000
	協 賛 金	1,443,000	1,443,000	役 員 会 費	9,483	100,000
	寄 附 金	0	5,000	雑 費	27,960	50,000
	雑 収 入	66,115	24,910	全国神社総代会代議員派遣費	118,920	150,000
	前 年 度 繰 越 金	3,527,285	3,002,990	負 担 金	173,900	173,900
	歳 入 合 計	6,590,500	6,030,000	事 業 費	2,777,275	4,600,000
				神 社 振 興 対 策 費	883,043	1,600,000
歳 出 の 部				講 演 会 費	270,000	100,000
款 項	科 目	27 年度決算額	本年度予算額	功 績 者 表 彰 費	75,802	100,000
諸 支 出		536,335	860,000	研 修 費	597,847	700,000
	備 品 費	0	5,000	全 国 総 代 会 積 立 費	300,000	300,000
	文 房 具 費	452	10,000	総 会 費	650,583	1,800,000
	図 書 印 刷 費	0	5,000	予 備 資 金 積 立 金	100,000	100,000
	通 信 運 搬 費	11,722	30,000	予 備 費	0	296,100
				歳 出 合 計	3,587,510	6,030,000

神政連山梨県本部歳入歳出決算 自 平成27年 7 月 1 日 至 平成28年 6 月30日				神政連山梨県本部歳入歳出予算 自 平成28年 7 月 1 日 至 平成29年 6 月30日			
歳 入 の 部				歳 出 の 部			
款 項	科 目	27 年度決算額	本年度予算額	款 項	科 目	27 年度決算額	本年度予算額
会 費		1,875,000	1,920,000	経 常 費		228,207	240,000
特 別 協 賛 費		350,000	356,000	人 備 品 消 耗 費		150,000	150,000
法 人 寄 附 金		1,361,480	1,100,000	政 治 活 動 費		12,778	20,000
個 人 寄 附 金		1,189,000	1,360,000	組 織 活 動 費		65,429	70,000
一 都 七 県 繰 越 金		0	0	調 査 研 究 費		4,775,658	4,520,000
雑 収 入		67	624	付 金 交 付 金		1,490,274	1,400,000
前 年 度 繰 越 金		344,694	116,376	研 究 費		199,569	200,000
歳 入 合 計		5,120,241	4,853,000	寄 附 金 修 立 費		1,952,700	1,955,000
				一 都 七 県 積 立 金		928,405	650,000
				運 営 資 金 積 立 金		0	100,000
				一 都 七 県 会 議 費		145,080	50,000
				予 備 費		59,630	65,000
				歳 出 合 計		5,003,865	4,853,000

金品寄付者に対して感謝状贈呈

神社庁長

◆東山梨支部

大宮五所大神 株式会社大戸

屋ホールディングス、三森久

◆東八代支部

古宮太神社 古屋英章

◆東八代支部

中尾神社 坂野義文、田村弘

◆東八代支部

諏訪神社 赤池孝教

表門神社 雨宮洋光、村松和

彦、丹澤嘉雄、丹沢治夫、杉

山 昭

◆峡中支部

笠屋神社 魚覚株式会社

若宮神社 功刀章光

諏訪神社 竹川たつ子、手塚

稔、金丸文晴・金丸紀子

◆峡北支部

六社神社 七名

諏訪神社 白倉万好

南宮大神社 東條正吾

諏訪神社 板山重光、白倉

浩

◆南都留支部

白山神社 外川 健

富士御室浅間神社 小佐野

立、倉澤芳平

浅間神社 第七組・第八組、

渡辺義道、小見山 虎、イル

カ、梶原久義

八王子神社・筒口神社 申酉

会、卯龍会

表彰状

ある百多年に亘り神社庁支部役員としてその職務に精励し、新道開拓のために寄与された功績は定に多大であります。仍茲に神社庁設立七十周年記念式典に当り記念賞を贈呈し、その功績を顕彰します。

平成二十八年十月二十六日
山梨県神社庁長 根津泰昇

神宮大麻暦頒布始祭

峡北支部長 森 越 義 建

平成二十八年度の神宮大麻暦頒布始祭が、去る九月十七日の午前十時より、内宮神楽殿で斎行され、神社本庁役員、都道府県神社庁長・支部長代表、被表彰者など約二百三十名余りが参列した。頒布始祭では、大御前に奉られた神宮大麻と暦が、鷹司神宮大宮司より北白川統理に授けられ、その後、統理並びに田中総長から各県神社庁長に頒たれた。祭典斎行後には、神社本庁より神楽が奉納された。

午後一時より神宮会館大講堂にて、平成二十八年度神宮大麻暦頒布秋季推進会議が開かれた。

会議に先立ち、平成二十七年度神宮大麻暦頒布功績の優秀神社庁、優良神社庁、特に努力の認められる神社庁（山梨外十五庁）、特別表彰頒布優良奉仕者（若宮八幡宮宮司藤原武男氏外三十四名）の表彰が執り行われた。

続いて、鷹司神宮大宮司と北白川統理の挨拶、受表彰代表謝辞が述べられた。続いて、小串副総長を座長に、頒布推進会議が進行された。先づ、神宮司庁頒布部長より、平成二十七年度

神宮大麻暦頒布数、平成二十八年度神宮大麻暦交付数の報告がされ、三月三十一日現在の神宮大麻暦頒布数八、六五二、二三二（三〇、四四七体減）暦が五六、四三六部（九一六部減）と九月五日現在の神宮大麻交付数が八、八六六、五七六体（六六、四四五体減）であるとの説明がなされ、震災等の影響による減少を最小限に止めたとの事であった。次に、神社本庁本宗奉賛部長より「三ヶ年継続神宮大麻都市頒布向上計画の現状」について、本施策は都市部への頒布対策に重点を置くこととともに、過疎地域等について、教化活動全般と連動し対応したい旨を説明並びに、第二年度終了の各神社庁活動報告書が提出されて、有効利用をされる様にとの事が説明された。

続いて、活動事例報告では、福島県神社庁佐藤大和教化部長並びに愛知県神社庁成海神社宮司亀垣昌一氏二名より報告がなされた。最後に田中総長総括挨拶があり、亀田神宮少宮司の挨拶で本会議の日程を終了した。

平成二十八年十月神社本庁定例評議員会開催

本庁評議員 古 屋 真 弘

去る十月十四日午後一時から、神社本庁大講堂に於いて、定例評議員会が開催された。根津庁長、中込総代会長、古屋本庁評議員の三名が出席した。

開会儀礼の後、北白川統理からの開会挨拶、神道政治連盟の新任になった打田文博会長から、挨拶がなされた。

次に中山議長登壇し、議事に入った。最初に議案第一号「神社本庁災害等対策資金の緊急支出の件」が上程され、この資金からの千五百万円に加え、熊本地震に際して全国から寄せられた義援金を合わせ、四億一千万円が各被災地神社庁を通して、被災神社に贈呈することが報告された。次に議案第二号「平成二十七年五月定例評議員会に置ける評議員提出議案等の処理結果」について上程され、決議された五件についての本庁対応について報告があり、採択された。次に議案第三号「平成二十七年神宮本庁業務報告」が小串副庁長からなされ、神宮大麻、歴頒布について、参宮促進運動について、不活動法人対策について、法律問題に係る対応について、政教関係訴訟の現況、教化施策では過疎地域神社対策研究会開催、広報については冊子

「外国人対応の手引き」刊行、総合研究所関係では、神符守札等の取扱ひについて、全国神社厚生年金基金について等の説明がなされた。併せて、議案第四号「平成二十七年一般会計歳入歳出決算」、議案第五号「同各種資金及び保管金会計収支計算書」、議案第六号「財産目録」、議案第七号「同事業会計決算」、議案第八号「同火災地震相互共済会計収支計算書及び財産目録」、議案第九号「同神社賠償責任保険会計収支計算書及び財産目録」について財務部長から説明がなされた。その後神社本庁監事より監査報告がなされた。質疑に移り、議場評議員から、百合ヶ丘職舎の売買について質問と意見がなされたが、他に意見はなく満場一致で採択された。

続いて、議案第十号「平成二十八年度一般会計歳入歳出補正予算案」、議案第十一号「庁舎衛生設備入替工事の件」が上程され、建築後三十年以上が経過し老朽化した本庁庁舎内の衛生設備を九千五百万円の予算で、本年度、来年度の二会計年度に分けて実施する旨上程され、これも満場一致で採択された。終了午後三時三十分

「第五十二回全国神社総代会大会」に参加して

東八代支部総代会 副会長

深 澤 孝 行

第五十二回全国神社総代会大会に初めて参加し、様々な感動をいたしました。朝、羽田を出発し上空から「秋田富士」といわれる鳥海山に迎えられ、初めて秋田県に参りました。秋田中央交通の「あきた小町」とも言われる美人ガイドさんに案内され「ねぶり流し館」にて三階まで吹き抜けのホールで東北三大祭りの一つ「秋田竿燈まつり」に使われる竿燈、梵天、曳山を見学しました。この祭りは古くから伝わる先祖の霊を弔い豊作を願う庶民の行事とのことでした。その後、全国より千五百人参加の総代会々場に移り、山梨



から金櫻神社の駒井賢一氏、槍峯神社の堀内文藏氏が全国表彰されました。多年にわたり神社

への多大な貢献と経営に務められ、私達も偉大な先輩のご指導をいただきながら敬神していきたいと思いました。

その夜は乳頭温泉にて各支部の役員様方と共に二人の祝宴を盛大に行いました。

翌日は角館歴史村、青柳家を見学いたしました。四百年前の武家屋敷は三千坪もあり江戸時代に引き込まれたような感覚に

一都七県神社庁教化担当者会

教化委員長 中 村 宗 彦

去る八月八日、東京新橋の第一ホテル東京に於いて、恒例の一都七県神社庁教化担当者会が開催され、神社庁金子主事補と共に出席させて戴いた。

会議では先ず、稲貴夫神社本庁教化広報部長（当時）より、教化実践目標、神宮大麻都市頒布向上計画、神社振興対策、広報関係等神社本庁の教化施策について、教化担当者としてよく

なり、屋敷神様も大切に祀られ子孫の繁栄を願う気持ちが伝わってきました。

帰路は、秋田新幹線角館駅より「こまち十八号」にて東京駅に向かいました。車窓から見える景色は稲穂が黄金に輝き、収穫真近で、今年も豊作で神に感謝の思いを新たにしました。

今回の全国大会に参加し、氏神様を中心に地域の平穏無事を祈り、大切に崇敬していきたいと思いは伝えていかなければならないと強く思いました。

理解して教化活動に当たると、詳しい説明がなされた。

次に、本年の当番である東京都神社庁より一都七県教化共同企画として、神宮大麻氏神神札の奉斎勸奨、正月神社参拝の勸奨、参拝作法等を内容とする一都七県神社庁ホームページの立ち上げと、その専用ポスター作成の提案があった。正直な感想を言えば、ホームページは目新



しさは無いが作りも綺麗でかなり完成度は高いのだが、それを紙のポスターで宣伝するとい

う手法は聊か時代遅れの感も…。またホームページの維持管理にはもう少し議論が必要であると思う。

それとは別に、災害に備えて非常用統一備蓄品の提案もなされた。今回は提案のみで結論には至らなかったが、大切なことであるし教化からはズレてしまいうが、今後一都七県の事業として議論すべきであろう。

最後に各都県の教化活動報告がなされ、本県からは特に、この会議直前の八月六・七日開催の神社庁七十周年事業「神社を知ろう」と、昨年の共同企画のインターネット広告の結果について時間を割いて報告させて頂いた。この会議には過去何度か出席しているが、その都度何かしらの刺激があり、とても有意義な会議であると思う。

山梨県神社庁設立七十周年記念事業

神社を知ろう

平成二十八年八月六日(土)・七日(日)

会場 甲府駅北口よっちゃばれ広場

会場案内図

神社を知ろう タイムテーブル

8月6日(土)			8月7日(日)		
時間	特設ステージ	神社ブース	時間	特設ステージ	神社ブース
12			10		
13			11	親獅子供会	
14			12	子供神楽舞 FUJI SAKURA塾 麓園	
15			13		子供神楽
16	開会セレモニー		14	バンド演奏 FUJI SAKURA塾 甲府囃子	
17	甲府囃子		15	西蔵神楽 餅まき	子供神楽
18	よさこい		16		
19			17	閉会セレモニー	
20	雅楽・舞楽・神楽舞				
21					

神社ブース
神楽ブース、おみくじブース、屋敷ブース、神宮御歌会、岩戸殿(お土庫)、神社新報、焼きそば・串焼き・ハンバーグ等の食事やビール等の飲み物、神主体験ブース、巫女体験ブース、お祭練習ブース(踊菓子、ポップコーン、かき氷)

商店広場
クレープ・スイーツなどの軽食、おもちゃ等、全15店舗出店

開会セレモニー

2日間の安全と盛況を願い、
開会奉告祭が執り行われました

よさこい



甲府囃子



雅 楽



豊栄の舞



蘭陵王（舞楽）



浦安の舞



餅つき



緑陰子供会火鑽り



神主・巫女体験



ジンジャエール



FUJI SAKURA 塾



子供神輿



西嶋神楽



閉会セレモニー



2 日間の安全と盛況に感謝し、
閉会奉告祭が執り行われました



緑陰子供会

教化委員会 事業部長

上 條 昭 宏

教化委員会の夏休み恒例の行事緑陰子供会が去る八月七日行われた。平年ならば神社の境内で行っていましたが、今年は神社庁設立七十周年の記念すべき年ですので、その記念事業「神社を知ろう」のなかで行われた。会場は甲府駅北口によっ



ちやばれ広場。

当日は約五十名の子供達に参加してもらいました。

開会式に引き続き、自分だけのオリジナルになる「勾玉づくり」、大昔の人が火をおこすのにどんなに苦労していたかを体験する「火鑽り」、子供神楽の見学、子供神輿体験等猛暑に負わずに楽しんでいただきました。

昼食は会場内の露店で各自が好物を引き換えて食べていただきました。

連日の猛暑の中ではありまし



たが熱中症等気分の悪くなる子供もなく楽しい半日を体験できたと思います。教化委員、神道青年会の皆様大変御苦勞様でした。



山梨県神社庁神宮大麻暦頒布始祭

東八代支部 副支部長 植 松 真 芳

去る九月二十三日、午後三時、山梨県神社庁神殿前に斎場を設け平成二十八年神社庁神宮大麻・暦頒布始祭が東八代支部奉仕にて斎行された。

根津泰昇山梨県神社庁長を始め、中込豊秋県神社総代会会長、県内神職、氏子総代、神社関係者多数が参列されるなか定刻に開始。

祭典奉仕神職は、斎主淺間神社禰宜植松真芳、副斎主比枝神社宮司津金八千代、祭員永井天神社宮司渡辺英明、祭員淺間神社權禰宜古屋真東、典儀若宮神社宮司志村重治。雅楽を奏すは山梨県神道雅楽会、羯鼓武田神社禰宜内藤寛、太鼓牛倉神社宮司中村宗彦、鉦鼓武田神社權禰宜関宣隆、笙天神社宮司松田公仁、箏築稲積神社權禰宜篠原康正、竜笛穴切大神社宮司秋山忠也、以上の奉仕員である。

先ず修祓、祓詞奏上後、大麻、塩湯にて神饌、玉串、祭典奉仕者、根津庁長、中込会長、他参列者を祓い清め、次に斎主一拝、次に献饌、次に祝詞奏上、次に

玉串拝礼、斎主、根津庁長、中込総代会長が各代表で玉串拝礼、次に撤饌、次に斎主一拝、最後に神前より神宮大麻が下げられ、根津庁長より各支部長に授与された。是を以て奉仕神職退下、引き続きその場にて直会が開かれた。

祭典奉仕に向け習礼を行うと、普段はあまり気にとめない事に多く気付かされた。祭員同士で確認し、話し合いがされ、調和が計られる等大変良い経験となった。

神社庁での頒布始祭が斎行される前、九月十七日、伊勢の神宮内宮神楽殿にて神宮大麻・暦頒布始祭が斎行された。祭典後の委員会にて大麻頒布数は年々減体であると報告された一方、福島県では原発問題で県内は未だ落ち着かない状況にもかかわらず、簡易神棚を作成することにより大幅に増体したとの報告もあった。

年末年始まで少し時間のある今、頒布増体に向け何をすべきか考えている。

神社庁顧問・参与会

甲斐奈神社 宮司 中 川 武 仁

一雨毎に秋も深まり行く九月十二日、甲府市の談露館に於いて平成二十八年山梨県神社庁の顧問・参与会が五十余名の参加者の下、開催されました。

開式の辞に続き、本年新たに参与に加わる私他三名に根津泰昇庁長より委嘱状の交付が行われました。その後、庁長、中込豊秋総代会長の挨拶があり飯田直樹参事よりの神社庁の業務報告が行われ第一部が終り、続く第二部では、前山梨県知事であり美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会の会長である横内正明先生を講師として「私の政治人生」をテーマに講話を頂きました。

その後、会場を改め第三部の懇親会が執り行われ、先輩の顧問参与の皆様と懇親を深めさせて頂き、昔のご活躍やこれからの斯界の未来への提言を賜りました。

(参与を拝命して)

今般、山梨県神社庁の参与を拝命致し、誠に恐悦至極に存じます。元よりの浅学非才の身、未だ分不相応と思いますが、この上は相応に成るべく益々に奮勵努力してまいります。



神道政治連盟山梨県地方懇談会 報告

神道政治連盟山梨県本部 幹事長

乙 黒 洋

神道政治連盟設立の目的である、「世界に誇る日本の文化・伝統を後世に正しく伝えること」に賛同し、その崇高な想いを国政のみならず地元山梨においても伝えんと志す、山梨県議会議員二十四名が集う、神道政治連盟山梨県地方議員懇談会の平成二十八年度総会が、去る八月二十九日にベルクラシック甲府において開催された。今回の総会には本懇談会会員である山梨県議会議員はもとより、神道政治連盟山梨県本部の代議員、山梨県神社庁各支部の総代会役員にも出席をお願いし、約五十名の規模となった。

開会に先立ち、皆川巖会長先導の下、正面に掲げた国旗を通して神宮を遙拝。続いて国歌を斉唱した後、神道政治連盟の宣言綱領を唱和。そして、本懇談会白井成夫相談役により開会が告げられ、改めて皆川会長が総会にあたっての挨拶を述べられた。続いて来賓を代表し、山梨県神社庁根津泰昇庁長また神道

川典子各衆議院議員、それぞれより国政報告を含めての御挨拶を戴き、最後に県議会議員を代表し本懇談会前島茂松顧問から御挨拶を頂戴した。

本懇親会においては、出席者相互に名刺交換を行いながら一献傾け、我が国、我が県の将来を見据えた活発な意見交換がなされ誠に有意義な席となった。

日本会議総会

美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会総会

キャラバン隊からの提言報告

これより総会議事に入り、鈴木幹夫氏が議長を務め、平成二十七年年度の活動・決算報告が、大柴邦彦事務局長より説明され、監査報告が早川浩監事から有り、全会一致を以て承認された。引き続き、平成二十八年度の活動方針案・事業計画案並びに予算案が、大柴事務局長の説明により上程され全会一致で承認された。

去る九月十四日、山梨県神社庁二階に於いて「日本会議山梨県本部総会」が開催されました。県内神職総代をはじめ日本会議会員約五十名が参加されました。

されました。県内神職総代をはじめ美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会の理事、運営委員など約六十名が参加されました。神殿拝礼、国歌斉唱、横内正明会長挨拶に続き、来賓挨拶の後、小佐野正史幹事長、事務局より平成二十七年事業報告、平成二十八年事業計画(案)と会計予算(案)の説明があり、特に意義もなく原案通り可決されました。

総会会場から部屋を移動しての懇親会となり、自由民主党山梨県支部連合会森屋宏会長が開会にあたっての挨拶、白井相談役が乾杯の発声を行い、和やかに懇親会が始まった。

神殿拝礼、国歌斉唱、日本会議綱領唱和、前原 会長挨拶に続き、御来賓である山梨県神社庁の根津泰昇庁長、山梨県神社庁総代会の中込豊秋会長より夫々ご挨拶を頂戴し、事務局より平成二十七年事業報告と会計報告、平成二十八年度事業計画(案)と会計予算(案)の説明があり、特に意義もなく原案通り可決されました。そして聖寿万歳の後に閉会となりました。

総会に引き続き、憲法改正啓発DVDを鑑賞した後、「美しい日本の憲法をつくる国民の会キャラバン隊」から現況報告や今後の活動についての提言がなされ、閉会となりました。

懇親会では内閣総理大臣・神道政治連盟国会議員懇談会安倍晋三会長、山谷えり子・有村治子両参議院議員、神道政治連盟打田文博会長など多数の方からの寄せられた祝電・祝文が披露され、また本県関係の国会議員である中谷真一、堀内詔子、宮

作る山梨県民の会総会」が開催

「神社本庁教誨師研究会」報告

教誨師 佐々木 高 仁

六十七回を数える本研究会が八月二十三・二十四日の両日、京都市内のホテルを主会場に、全国から五十名の神職教誨師が参加して開催された。

今回の研究会は「出所者の円滑な社会復帰に向けて」を主題に開催された。今年六月から「刑の一部執行猶予制度」が施行され、再犯防止と改善更生に対する支援活動がますます重視されることとなった為である。

初日は開会式に引き続き、千房ホールディング株式会社の中井貫二専務取締役が、「経世済民・共に育つ」職親プロジェクトについて」と題して講演した。同社は全国展開するお好み焼き専門店で、創業社長の強い信念の下、出所者に就労の機会を与えて円滑な社会復帰に尽力してきたこと。職を与え、居場所を与えることが再犯防止につながる。これにより受け入れ側と出所者と共に育つ「共育」が必要であると話された。

続いて京都刑務所の分類教育部長石田陽子氏が「再犯防止と刑の一部執行猶予制度について」と題して講演された。刑の

一部執行猶予制度は、刑務所の過剰収容を解決すると共に再犯防止と社会復帰促進を目的とする制度で、行刑施設での処遇と社会における処遇とに連続性を図ることを目的とし、更に保護観察に必要な期間を確保するものである旨を解説した。

またこの制度によって保護観察対象者の増加、猶予取消者の対策等課題についても話された。

講演後には、事例報告、意見交換等が行なわれた。

二日目には、京都市上京区、北野天満宮に参拝。その後京都刑務所を参観した。

全国敬神婦人大会に参加して

山梨県敬神婦人連合会 会長

乙 黒 夏 恵

六十七回全国敬神婦人大会兵庫大会が神戸ポートピアホールに於いて九月六日開催されました。北から南全国の会員一五〇〇人が集い、本県からは二泊三日の日程で会長以下二十九名が参加、初日は世界遺産で国宝姫路城を見学。かつて黒田官兵衛の頃山城であったが羽柴秀吉の時に三層五階の城へ、その後家康の娘婿池田輝政により八年の



歳月をかけ五層七階の堅固な城を築き又平成の大修理が行なわれた白く輝く美しい城です。

雨の中急な階段での見学でしたが未来への遺産として大切に受け継がれるべき素晴らしい城に一同感銘を受けました。

翌日異国情緒あふれる北野異人館あたりを散策し午後大会へ、北白川慶子会長の式辞に始まり記念講演では市田ひろみ氏の「旅で出会った人々」を拝聴しその後マリンバの演奏があり大喝采の内に閉会となりました。又生田神社、伊弉諾神宮を正式参拝し敬神婦人会として鎮守の森を中心に神社奉仕に力を入れる事が私共の使命である事を再確認した大会でした。

来年度は静岡で開催されま

す。近県ですので是非多くの会員の皆様の参加をお願い致したいと思っております。

「全教神協議会全国大会」報告

山梨県教育関係神職協議会
副会長 宮 下 重 範

第五十七回全国教育関係神職協議会全国大会が平成二十八年八月八日、九日の二日間、千葉県「ホテル ポートプラザ ちば」において開催され本県から山教神協監査、郷田盛直と小生の二名が参加した。開会式典には、根津山梨県神社庁長も列席され、神宮遙拝、国歌斉唱、教育勅語奉読、敬神生活の綱領唱和につづき、全教神協綱領

一、私たちは、日本の伝統を守り、神道精神の高揚に努力する。
一、私たちは常に中正を守り、日本にふさわしい教育の振興に努力する。

一、私たちは国家の隆昌と世界の共存共栄とに努力する。
の唱和

更に感謝状贈呈、会長式辞、来賓祝辞、祝電披露と進み、開会式典は終了。引きつづき総会に移り、事業、決算報告、事業、予算の審議と進み、次回開催地を石川県と決定し総会は終了。

休憩の後、参議院議員山谷えり子先生による基調講演「憲法改正と教育基本法について」が行なわれた。その内容もさることながら講演の途中で天皇陛下の生前退位に関する天皇御自身のお考えをラジオ放送によって受講者全員が拝聴できる機会にもめぐまれ、この上ない研修であつた。

戦後七十年を経過した今日、日本は経済大国として、物質的豊かさを享受できる社会をつくり上げたが、一方で占領下につくられた教育基本法の下での教育は、自己の権利や個性が強調され、優先されるあまり、古来の日本人の生活規範や価値観を崩壊させることとなった。平成十八年、教育勅語の精神をふまえた改正教育基本法が公布、施行され、戦後教育からの脱却が図られる枠組みが整えられた。今後は教育現場において、いかに意識改革を図っていくかが重要である。過去「世界にただ一つ残したい民族があるならば、それは日本民族である」と評価された日本人を育成していくのは神職であり教育者である全教神協会員全員が日本の伝統文化と精神の崇高さを人々に喚起させ、日本人としての心を養うべ

く「日本人の誇りと心を育てる教育を行なうこと」が本大会の目的であると思う。

第十六回神社関係者 囲碁大会報告

山梨県教育関係神職協議会
事務局長 小佐野 文 男

八月四日(木)、午前九時、囲碁大会は先ず高野英夫会長先導により、神殿に向かつての拝礼から始まりました。県内の各神社から集まった一般参列者、保育園児・小中学生まで神殿の前でお互いに大会での健闘を誓い合つた。神社庁主催、教育関係神職協議会が主管し十六回目を迎える囲碁大会は神社庁二階神殿において開催されました。

大会には青少年の部：保育所の子供たちと小中学生合わせて二十八名(初級者六名、上級者十二名、有段者十名)、一般の部は県内八支部より囲碁を愛好する氏子崇敬者合計十二チームの参加がありました。今年は、中学生が選抜チームとして大人達との一般の部にエントリーしてくれました。

主催者を代表して根津泰昇神社庁長から「子ども達には夏休みの良い思い出となるよう頑張

って欲しい。また、神社とは何をする所なのかなど、神社の事を廻りの大人の氏子の方々から学んでいって欲しい。また、一般の囲碁愛好家には、囲碁を続け大会に参加する事を通じて日頃は疎遠になりがちな県内神社の氏子の方々同士、多いに親睦を深めていって頂きたい。」との挨拶を頂いた。この後、対局に入り、一般参加者はAクラス・Bクラスに分かれ団体戦で、青少年の部は個人戦にて対戦は進んできました。

青少年の部には、保護者の方々が応援に訪れ、我が子の勝ち負けに一喜一憂しながら対局を見守っていました。優勝、準優勝、三位には賞状・楯が授与されるが、入賞の我が子が大事そうに抱えるトロフィーを持つ晴れ姿を盛んにカメラに納めている風景が微笑ましい。

戦い終えて、閉会式の講評では青沼審判長から、「今年は中学生も一般の部に参加させて頂き喜んでいて。中学生の参加が皆様の対局にも刺激になれば嬉しく思います。」とのお話があった。来年も中学生の参加が多いに望まれるところです。

第十六回、一般の部入賞チームと青少年の部入賞者を紹介します。

一般の部(Aクラス)

優勝 古宮太神社(甲州市勝沼町)
準優勝 八王子神社(富士河口湖町)
第三位 白髭神社(甲州市塩山)

一般の部(Bクラス)

優勝 氷川神社(甲州市勝沼町)
準優勝 中学生選抜チーム
第三位 浅間神社B(笛吹市一宮町)

青少年の部(有段者)

優勝 伊藤 貴大(北新小)
準優勝 小林 桂月(長坂中)
第三位 福田 大和(羽黒小)

青少年の部(上級者)

優勝 渡辺 拓斗(府中実保育園)
準優勝 大柴 美麗(山梨大付属小)
第三位 橋本 和歩(竜王小)

青少年の部(初心者)

優勝 周 嘉音(竜王大生園)
準優勝 野崎 杏(相川小)
第三位 後藤 希美(吉田小)

全勝者(Aクラス)

三沢 隆(古宮太神社)
渡辺 勝明(八王子神社)

全勝者(Bクラス)

中村 正昭(浅間神社B)
大柴 智親(中学生選抜)

神道青年会活動報告 神社を知ろうに参加して

山梨県神道青年会

会員 相 田 卓 也

平成二十八年八月六日・七日に山梨県神社庁設立七十周年を記念した事業である「神社を知ろう」が甲府駅北口よっちゃばれ広場で行われました。多くの人に神社を知ってもらおうと言った趣旨の事業であり、親しみを持ってもらうためにあえて事業では無くイベントと書かれ告知されました。当日は多くの参加者の方々が楽しみながら神社について、日本の文化について知って頂く姿が見られました。

当日は広場に幾つものブースが設置されました。神社を知るための資料が置いてある所や国旗を販売する所など、多岐にわたります。私の居たブースは巫女、神職体験という所で巫女や神職の服装をして会場内を自由に歩く事が出来るという内容のブースでした。老若男女問わず多くの参加があり、外国人の方までも体験したいと来て下さい

ました。体験された方は皆さまたく笑顔で、事業の趣旨通り楽しみながら神社について日本の文化について知って頂いた様に思います。

今回の事業にはお子様連れの方の参加が多くみられました。楽しみながら日本文化に触れた子供やその保護者の方、それ以外の参加者の方でも皆さま楽しんでいただけたと思います。参加された方々が今回の事業をきっかけに神社に、日本の文化に興味を持っていただけたらと思います。

「全国女子神職協議会 代議員会」報告

山梨県女子神職会

会長 津 金 八千代

七月十二日、神社本庁に於いて全国女子神職協議会教養研修会に続き、翌十三日、代議員会が開催された。

平成二十七年年度の事業、決算、監査報告があり承認された。平成二十八年度事業計画案として、祭式、禊、教養、各ブロッ

クの研修会開催について、日本の産育習俗（腹帯、母乳、育児、躰など）の伝承への取り組みとして小冊子『腹帯いろは』配布、機関誌『こころば』発行、未加入単体会への加入推奨、友好団体との提携と協力等提案された。又、事業に伴う予算案と東日本大震災義捐金を基に設けられた災害見舞金より、今度の熊本地震で会員奉職の被災神社に、被災の程度に応じた額を贈る事が可決された。続いて役員改選で、中島建乃会長を始め新役員が承認された。

全国の会員と共に、神様と地域を繋ぐお役目に尚一層努力して参りたいと思う。

「全国女子神職協議会 教養研修」に参加して

酒折宮 権瀬宜

飯 田 淳 美

七月十二日、神社本庁で開催された全国女子神職協議会教養研修会に参加させていただきました。

最初のご講義は國學院大学神

道文化学部武田秀章先生、『古事記』は女神様の物語であると身振りを交えて情熱的にお話し下さいました。次は福島県神社庁長、福島稲荷神社宮司丹治正博先生、東日本大震災の甚大な被害や後の風評被害には胸が痛みました。しかし丹治先生は明るく前向きな福島を力強く語って下さいました。

最後は上賀茂神社宮司田中安比呂先生、上賀茂神社の由緒や式年遷宮のこと、斎宮様のことなど映像から勅祭社の祭祀の様



子がうかがえて、とても興味深いものでした。

参加者約百五十名の皆様と共に有意義な時を過ごせたことを感謝するとともに学びました数々を今後の神明奉仕に活かしてまいりたいと思います。

「雅楽研修会」報告

穴切大神社雅楽会会員

保坂京子

心待ちにしておりました宮内庁楽部の先生方による、神社庁研修所主催第八回雅楽研修会が神社庁で、九月八日開催されました。穴切神社雅楽会からは、八名が参加致しました。

台風による悪天候にも拘わらず、龍笛の上明彦先生、箏の池邊五郎先生、鳳笙の池辺光彦先生には、早朝より御足労を戴き心よりお礼申し上げます。

開講式後、十時から三時まで管別指導、その後、合奏となり五時半まで合同の指導でした。受講者十九名全員が緊張感の中、先生方の一挙手一投足に目を凝らし、一音たりとも聞き漏

らすまいとの強い意志を持って望んだ講習でした。

持ち菅が龍笛の私は、上先生の正面の席で御指導を戴きました。笛の構え方が安定しない私に「かたちも大事ですよ。」とご自分の体験を、冗談を混じえお話し下さいました。音色には特に厳しく「音は性格が出るんですよ。」の言葉に、改めて自身の音の悪さの原因を思い知りました。先生の柔かく伸びた背中、偉ぶる事なく、分け隔てのない御指導に、全てに渡って「かたち」の整ったお姿がありました。楽家の連綿と続く歴史をふまえて「かたち」を崩す事なく、その伝統を今に継承し続ける尊さの片鱗に触れ、強い感銘を受けました。雅楽の奥深さに身の引き締まる思いと共に、しみじみと幸せを感じました。

私共一般の者にも門戸を開いて、このような機会をお与え下さった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。この日の教えを心の財産とし、これからも修練を積んで参りたいと思います。修了証を手に、受講者全員が

充実感に包まれた研修会でした。

山梨県神社庁野球部

活動報告

監督 稲葉政信

今期、神社庁野球部では、執行部（総監督、監督、助監督、主将、青年会長、事務局）の連携を密にし、多くの神職が野球に参加し、楽しいシーズンとなるよう、まずは執行部会を行い、年間活動計画と予算計画を立案し今期をスタートさせました。野球シーズンは六月下旬の青年会対OBの球始めよりスタート、練習は月二回に限定、七月下旬に昨年より始まった長野県神社庁野球部との親善試合、九月上旬に神社本庁野球部との親善試合、九月下旬に今期の総決算にあたる一都七県神職野球大会、そして十月上旬に青年会対OBの球納めによりシーズンを終わります。今期の結果は、長野県神社庁野球部親善試合では七対二で負け、神社本庁野球部親善試合は、十一対五で負け、

神青協一都七県野球大会は、埼玉B戦十五対六で負け、群馬戦六対五で負け、栃木戦九対〇で負けと惨敗に終わりました。

今期を振り返り（特に一都七県神職野球大会）、他県は平均年齢が低く、部員の殆どが青年会員であり、若干のOBが監督と補助役で入っている体制で、山梨県もそろそろ青年会主導で野球部を盛りたてる組織改革が必要と感じました。下手でも未経験でも青年会が野球部の主体となり、足りない部分をOBが補填する組織改革を今後進めて参りたいと思います。



祭典を斎行して

山縣神社例大祭・

大式学問祭

山縣神社

宮司 塚 川 宣 行

九月二十一日前夜祭、二十二日例大祭・大式学問祭が斎行されました。これにともない地元古村区の「ふるさと祭」も開催され多数の人々が参加し大変盛り上がりました。

二十二日はあいにくの雨でしたが、大式仮装行列・学問成就祈願・神輿渡御・みゆきソコダ

例大祭を斎行して

若宮八幡宮

宮司 藤 原 武 男

本年七月三十・三十一日と両日に亘り、例大祭が斎行された。是に先立ち、五月より随時、総代・関係諸団体代表者三十七名の出席の元、祭典実行委員会が開催され、神事全般の説明や各催物等についての検討が行なわれた。また、協賛依頼、警備本部設置、申請手続等細部について入念な確認が幾度となく為された。七月初旬より、当社神楽団の神楽と氏子より選ばれた童

イ踊り等の催しものが行なわれ、商工会を中心に露店も多数出店、お祭りに参加した子供達も二日間おおいに楽しんでいたのでした。

甲斐市が生んだ江戸時代の学者「山縣大武」の遺徳を偲び、後世に功績を伝えるとともに、地域の人々とのふれあいの場として大式学問祭は開催され本年三十一回を数えることができました。これより先も地域の人達とのふれあいを大切に神社の護持・発展に努力したいと思えます。多数の方の協力により雨天にもかかわらず祭典が盛大に無

女による浦安の舞など各奉納神事の練習が始まる。例祭前日には茅の輪作り、神輿組立て、児童書画展示、手作り灯籠や提灯の取付け、町内では五千枚に及ぶ紙垂が張り巡らされ準備が整う。

当日早旦社殿を整え、定刻前庭にて参列者一同手水、修祓の後、拝殿へ参進し着座。太鼓を合図に式は肅々と斎行され、息の合った美しい浦安の舞の奉納、茅の輪くぐり神事と地域の安寧氏子の無病息災が祈念され、式は滞り無く執り納められた。祭典後、境内で八地区の子

事終了したことに感謝し、皆様に御神徳がありますようにご祈念申し上げます。



供神輿発輿式がある。若宮地区は大人子供の一基の神輿に加え、賑やかなお囃子と山車も渡御する。各地区各々渡御となる。

提灯に火が灯る頃、夜神楽の奉納が始まり、警察と安協の協力により交通規制が実施され歩行者天国となった車道に、百余の露店が並び神社までの参道が老若男女で賑わう。翌日は三社中による日本舞踊の奉納があり、これを以て神振行事は全て終わりとなる。

それにしても今年は猛暑が続き、よく無事乗り切れたものだと感謝の気持ちで一杯になった。

祭典日程

10・22 身延町帯金八幡大神社秋の例大祭 中央市布施八幡穂見神社例祭

10・23 身延町八日市場八幡神社秋祭

10・28 甲府市愛宕神社例大祭

10・31 甲府市国母船形神社秋祭例祭 (例祭)

11・3 弓削神社例祭 富士川町青柳諏訪神社秋祭例大祭・御幸祭

11・19 下吉田小室浅間神社室宮恵比寿例祭 (二十日)

11・20 甲府市高畑元宮住吉神社秋祭例大祭

11・22 南アルプス市高尾穂見神社秋季例大祭・新嘗祭 (二十三日)

11・23 酒折宮新嘗祭 玉諸神社新嘗祭 弓削神社新嘗祭 桐原軍刀利神社新嘗祭 甲府市宮前八幡神社新嘗祭 甲府恵比寿神社えびす講例大祭 甲州市勝沼古宮太神社秋季大祭 早川町京ヶ島八幡日吉神社秋祭 南アルプス市上今諏訪諏訪神社新嘗祭 韮崎市藤井町当麻戸神社新嘗祭 北杜市高根町熱那神社新嘗祭 富士吉田市上暮地神明社新嘗祭 新倉富士浅間神社新嘗祭 大月市葛

今後の予定

「新穀感謝祭」

我が国の御親神、心のふるさとと仰ぐ「お伊勢様」。その限りない御神恩に感謝の真心を捧げ、「瑞穂の国」と称えられた我が国柄への思いを新たに
する新穀感謝祭は、本年で六十二回を数えること
となりました。

本年も多くの皆様のご参列を得て、奉賛の喜び
を共に致したく存じます。

記

- 1、日 時 平成28年11月16日・17日
(一泊二日)
- 2、神宮では御垣内にて特別参拝、神楽殿での御
神楽の奉奏が執り行われ、鳥居禮画伯の舞楽
絵画をモチーフとした「舞楽陶額」が参拝記
念として撤下されます。
- 3、宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異
なります。支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。



「神殿新嘗祭」

初穂を供え、今年一年の収穫の感謝と喜びを神々
に奉告する「新嘗祭」恒例による神事を下記によ
り斎行致しますのでご参列下さい。

記

- 1、日 時 平成28年11月21日(月)
午後1時30分
- 2、場 所 山梨県神社庁神殿



「神宮初まいり」

毎年恒例となりました神宮初まいりの旅を下記
の日程で行います。

多数の皆様にご参加いただきますようご案内申
し上げます。

記

- 1、日 時 平成29年1月18日(水)～20日(金)
(二泊三日)
- 2、参加費 決定次第、ご案内致します。



「神殿例祭、神職初会」

神殿例祭並びに神職初会を下記の日程で斎行致
します。

記

- 神殿例祭
 - 日 時 平成29年1月28日(木曜・赤口)
 - 場 所 山梨県神社庁神殿
- 神職初会
 - 日 時 平成29年1月28日(木曜・赤口)
 - 場 所 山梨県神社庁神殿

